

【審判4大原則】 大きな声で！ 素早く！ 正確に！ 美しい姿勢！

- ★問題（選手や応援の暴言・抗議・けがなど）が起きたら、直ちにレフェリー（教員）を呼ぶ。
- ★真剣かつ誠実な姿勢で取り組み、選手と共に「感動できる試合」をつくる。

1 主審の仕事 ※スコアカードの記入方法についても熟知しておくこと。

(1) 試合開始前

- ①敗者審判制が基本です。自分の試合に入るときに、**コートに筆記用具と時計を持参すること。**
- ②コート状況の整備（シングルススティック、ネットの高さ・張り具合、ライン、ゴミ、忘れ物等）
- ③**選手が来ない**場合は時間を計り、本部に速やかに報告すること。
10分遅刻…1ゲームを失い、トスの敗者となる。15分遅刻…不戦敗（DEF）となる。
- ④試合前のミーティング ・**選手名・学校名の確認** 必ず**目を見合わせて**。特徴をスコアカードにメモ。
・トスをする。※**トスの敗者にも選択権がある！** 特に**エンドの選択**に注意。

(2) 試合中

①知っておくべきルール

- ・いかなる場合も**選手(ベンチコーチ、応援)のアピールによって判定を覆してはならない。**
- ・オーバールール：**副審の明らかなミスジャッジ**があった場合、訂正することができる。

②アナウンス

★【試合開始とサーバー名の紹介】

- ・試合開始 **1セットマッチ A トゥーサーブ プレイ** ※Aはサーバー名
- ・第2（ダブルスの場合は第2・3・4）ゲームの開始前に他のサーバー名を紹介 **B トゥーサーブ**

★【ゲーム中のスコア】

<通常のゲーム>

- ・サーバーのスコアを先にアナウンス。「0（ラブ）-15」「40-30」など
- ・**デュース** 2回目以降も同様。×~~デュース アゲイン~~
- ・**アドバンテージ A** ※Aは**個人戦は選手名、団体戦はチーム名**。（以下同様）。
※個人戦ダブルスでサーバーがアドバンテージ →Aはサーバー名 ×~~アドバンテージサーバー/レシーバー~~
レシーバーがアドバンテージ→Aは次にレシーブするレシーバー名

<タイブレーク中>

- ・0 (**ゼロ ×ラブ**) 1 2 3 … 以下ポイント数を言う。 ×~~デュース~~ ×~~アドバンテージ~~
- ・3-1でBがリード **3-1 B** (スコア(大→小)→リードしている方の順に) ×~~1-3~~
- ・ポイントが並んでいる **2オール** **9オール**
- ・両者のポイントの合計が6の倍数(6、12、18…)になったときに**エンドチェンジ**

★【ゲーム終了と試合終了】

- ・第1ゲームをAが取った **ゲーム A ファーストゲーム**
- ・第2ゲームをBが取って並んだ **ゲーム B 1オール**
- ・第3ゲームをAが取った **ゲーム A Aリーズ 2-1**
(ゲームを取った方→リードしている方→スコア(大→小)の順に)
- ・第12ゲームをBが取ってタイブレークへ **ゲーム B 6オールタイブレーク (A トゥーサーブ)**
- ・7-6でBの勝利 **ゲーム セットアンドマッチ B 7-6** (勝利した方→スコア(大→小)の順に)
×~~マッチウオンバイ~~ B

③コール

- ・**アウト** ボールがベースライン・サイドラインの外側に落ちたとき。落ちるまでは言わない。
- ・**フォールト** サービスがラインの外側に落ちたとき。ネットフォールトはコールしない。
セカンドサービスの場合も同様。×**ダブルフォールト**
- ・**フットフォールト** ベースラインを踏んでサービスを打ったとき。インパクトの直後にコールする。
- ・**レット** ①ポイントをやり直すとき。(ボールの侵入、選手がラリー中に物を落とした 等)
ボールの侵入があったら即座にコールする。選手は勝手にプレーを止められない。
ボールの侵入＝「自分のコートと隣のコートの間をボールが越えたら」が目安。
②サービスがネットに当たって入ったとき。「レット ファースト (セカンド) サービス」
- ・**ウェイトブリーズ** ポイント間 (ファーストサーブとセカンドサーブの間)、不都合がある (ボールの侵入、位置に付いていない等) ためサーブを打つのを待つよう知らせるとき。
- ・**コレクション** 「フォールト」「アウト」などのコールを明らかな誤りであると判断し、訂正するとき。
入っていたと訂正するとき「コレクション ボール ワズ グッド」
- ・その他 **スルー** ネットの穴をボールが通り抜けた / **ノットアップ** 2バウンドでの返球
タッチ ラケットや体にボールがかすった、ラケットや体がネットに触れた
ファウルショット 故意の二度打ち、ネットを越えて相手コート側のボールを打った
ヒンダランス 相手への妨害 (故意は失点、無意識はレット)、ポイントが決まる前に大声を出した、
ラリー中に選手がラケット・シューズ以外の物 (帽子・ボール等) を落とした
→「2回目以降はヒンダランスとして失点となります」と選手に伝え、1回目のみ「レット」

(3) 試合終了後

- ・選手との**握手** ※選手としても常に心がける！
- ・**最終スコアを記入**する。大きい数字を左側に。×4—6 ○6—4
- ・最終スコアを勝者に確認してもらい、**勝者サインをもらったら、本部へ速やかに報告。**

2 副審の仕事

- ・全てのプレーを見るが、**判定は担当ラインのみについておこない**、「アウト」「フォールト」をコールする。
 - ①サービス時…**サービスライン**と、**主審から遠い側のサイドライン** ×**センターライン**
 - ②サービス後…**主審から遠い側のサイドライン** ×**ベースライン**
- ・ラリーが始まったら、素早くネットポストに移動する。ラリーが終わったら、素早く戻る。
- ・美しい立ち姿勢とハンドシグナル。そして何よりも、**大きな声**！発声後、補助としてシグナルを。

副審の担当ライン

